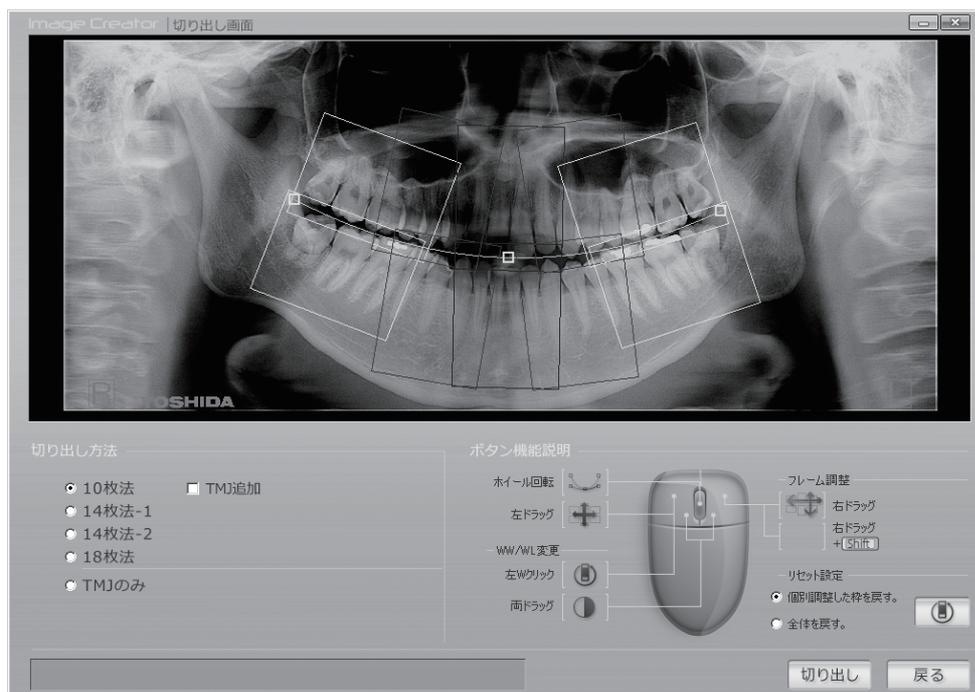


デンタル切り出し画面



1.呼び出し

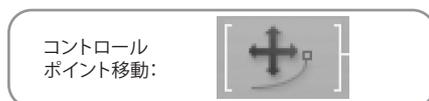
Image Creator にパノラマ画像が表示されている状態で **Dental Clipping** をクリックします。



2.方法指定

■切り出し方法を選択します。

※ TMJ も同時に切り出す場合は、「TMJ 追加」にチェックを入れます。



3.位置調整

コントロールポイントの移動:

コントロールポイントにマウスカーソルを置いて、マウスの左ボタンを押しながら動かすと、スマイルラインが変更されます。



フレーム調整:

マウスの右ボタンを押しながら左右に動かすと、デンタル切り出し枠の左右の間隔を変更できます。また、上下に動かすと、デンタル切り出し枠の上下の間隔を変更できます。



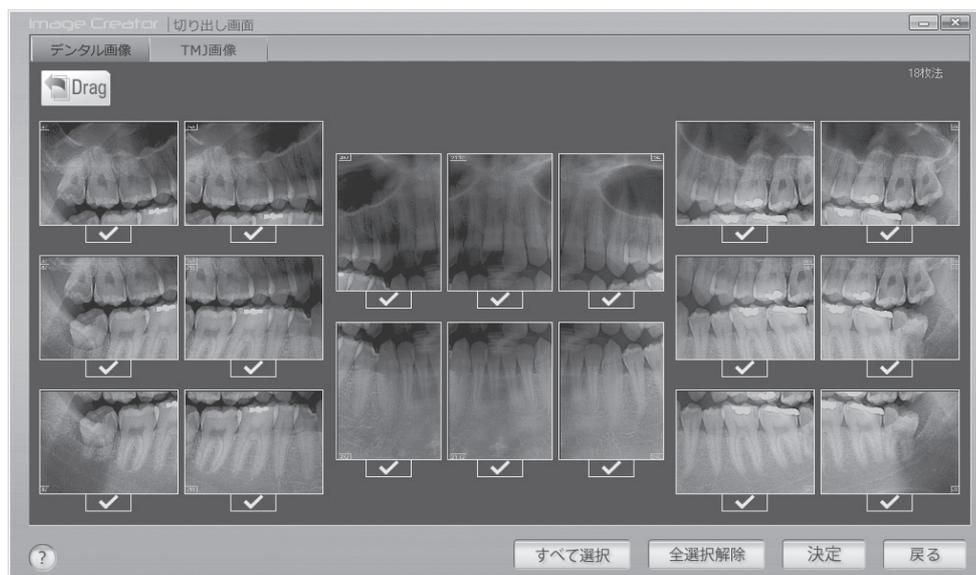
枠の移動:

デンタルまたはTMJ切り出し枠にマウスカーソルを置き、左ボタンを押しながら動かすと、マウスカーソルが指す個別の枠を移動できます。



枠の回転:

デンタル切り出し枠にマウスカーソルを置き、マウスの右ボタンを押しながら動かすと、カーソルが指す個別の枠を回転できます。回転中キーボードの **Shift** キーを押すと、回転操作をキャンセルできます。



切り出し

4. 切り出し

切り出し をクリックすると、切り出す画面に替わって画像が表示されます。



画像出力

5. 画像出力

グレー表示状態の **Drag** アイコンを右クリックして、画像の出力形式を選択します。**決定** をクリックすると、**Drag** がドラッグ & ドロップ可能な状態になります。



画像転送

6. 画像転送

左上の **Drag** アイコンを左ボタンでビューアソフトにドラッグ & ドロップすると、画像が転送されます。

※ 転送画像を自動整列する設定について:

デンタル切り出し画像をTrophy Windowsに転送する場合、出力形式をTrophy Windows Format (*.rvg)に指定し、Trophy WindowsのFMS2フォーマットに **Drag** アイコンをドロップすると、デンタル切り出し画像が自動的に整列した状態で転送されます。

⚠ 注意

1. 「Image Creator」は、撮影データの再構成を目的としたソフトウェアです。診断用のソフトウェアではありませんので、「Image Creator」上の画像にて診断を行わないでください。
2. [Filter]を適用した場合、画像処理の影響により補綴物などのX線を透過しにくい部分の周辺が黒くなることがあります。この周辺が黒くなると二次カリエスの様に見えることがあるため、この場合には[Filter]を適用しない画像でも確認してください。
3. パノラマ画像から切り出してデンタルサイズの画像を作成しています。そのためこの画像はパノラマ画像特有のゆがみを含んでいます。計測を行う際には充分にご注意ください。

※ 詳しいお取り扱い方法については、取扱説明書をご覧ください。

X-era Smart Quick Manual (デンタル切り出し篇)

● 発行年月:2012年6月 第1版 ● 発行:株式会社 吉田製作所 ● 文書番号:XP73-取説-09